

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月24日更新

事務事業名		菊池川流域同盟参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	19	水環境の保全			所属課	環境衛生課	担当者名	田尻 真晃
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10208	根拠法令	菊池川流域同盟会則	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成元年、菊池川流域同盟に参画のため開始した。菊池川の清流を保全し次世代へ引き継ぐため、蛍情報、石鹸作りコンテスト、菊池川流域一斉水質検査、事業所排水検査、水援隊研修、菊池川の日事業等を実施(水援隊研修と菊池川の日事業は年交代で実施)している。
【業務の流れ】	蛍情報の発信、石鹸作りコンテスト事務、菊池川支流の水質検査、事業所排水検査、負担金納入事務、研修会参加、菊池川の日運営
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(負担金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	会議出席、視察研修、負担金納入事務、菊池川支流の水質検査を実施した。蛍情報の発信、ブラジルチドメグサ発生状況の監視を行うなど、菊池川流域の水環境保全の啓発を行った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議参加者数	イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	環境衛生課職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 環境衛生課職員数
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	菊池川流域の河川浄化と保全に関する情報の収集ができる菊池川に関する知識を身につけることができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 新たな情報を入手できた件数と割合
		イ: 新たな情報を身につけた職員の割合
		%
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
菊池川流域同盟への参画により、菊池川に関する情報の収集、知識を身につけることができるので、成果指標を「新たな知識を入手できた件数と割合」、目標値については、知識を入手、身につけることが重要でありそれぞれ「100%」と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア 人		2	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア 人		7	7	7	6	8	8	8	8
	イ									
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	160	160	160	160	160	160	160
		(A) 事業費計	千円	160	160	160	160	160	160	160
		(A)のうち指定経費	千円	160	160	160	160	160	160	160
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	4	7	6	7	7	7
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	0	128	270	105	270	270	270	
	(B) 人件費計	千円	0	0	1,075	415	1,075	1,075	1,075	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	160	160	1,235	575	1,235	1,235	1,235	

事務事業名	菊池川流域同盟参画事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 会議への出席、負担金の納入事務、その他市民への河川環境保全の啓発を行うと同時に、水環境保全に関する知識を深めることができた。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊池川流域同盟への参画により、菊池川に関する情報の収集、知識を身につけることができるので目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新たな知識を得るための参画事業であり、その都度職員の知識向上余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊池川流域同盟負担金のため。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊池川流域の市町で構成する同盟の参画事業であるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 菊池川ということで、市民全員が受益者ということではないが、菊池川の水質保全の観点から公平であると考え。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 菊池川流域の市町で構成する同盟の参画事業であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

会議への出席、負担金の納入事務、水援隊研修への参加などを行った。市民への河川環境保全の啓発を行うと同時に、水環境保全に関する知識を深めることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					